

過去の実施事業一覧
も掲載しています！
【37 ページ～】

船橋市 市民公益活動公募型支援事業

事業事例集

令和6年度 実施分



市民協働課 PR キャラクター

@ワン @にゃん



船橋市 市民生活部 市民協働課(令和7年8月発行)

目次

本事例集の発行にあたって	1 ページ
令和6年度 交付実績	1 ページ
令和6年度 実施事業 全17団体 ()は事業名	
<u>1 スペシャルキッズプロジェクト</u> (スペシャルキッズプロジェクト vol.12 和太鼓ワークショップ)	3 ページ
<u>2 童謡文化の会</u> (童謡・唱歌を歌って学ぼう！パートⅡ)	5 ページ
<u>3 いごっちクラブ</u> (「囲碁で友だちの輪をつくろう！」)	7 ページ
<u>4 むねあかどり</u> (『地域のHUB(ハブ)=つなぎ役に』 高齢社会・障害者福祉を学び、介護してる方へのリフレッシュを。)	9 ページ
<u>5 ゴスペル・マムズ</u> (「歌って、ハモってリフレッシュ！ゴスペルワークショップ」)	11 ページ
<u>6 はぐくみハグミー</u> (障がい児と家族のための避難所づくりワークショップ)	13 ページ
<u>7 特定非営利活動法人終活支援センター千葉</u> (明日からの人生を生き生き過ごすために“終活”を楽しく学びましょ う)	15 ページ
<u>8 丸山サンクチュアリ</u> (大切な市民の森を皆で守り育てよう！！)	17 ページ
<u>9 ハーモニーship</u> (舞台美術ってどんなもの？学んでみよう！つくってみよう！)	19 ページ
<u>10 船橋市聴覚障害者協会</u> (「ヒゲの校長」上映会)	21 ページ
<u>11 NPO 法人 ネモ ちば不登校・ひきこもりネットワーク</u> (講演会&相談会 「どうする不登校・ひきこもり～子どもとともに生きる PartⅡ～」)	23 ページ
<u>12 NPO 法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア</u> (折れない心を育てるいのちの授業 ～半径5メートルの人と幸せに暮らせる地域を目指して～)	25 ページ
<u>13 新世紀美術協会千葉支部</u> (こどももおとなも楽しく描こうアート教室)	27 ページ

目次

<u>14</u> <u>ぐるっと交換会</u>		
（ぐるっと交換会+講演会 「衣服のゆくえ～廃棄服はどこに行く?～」）	29 ページ
<u>15</u> <u>明治大学校友会 船橋地域支部</u>		
（「心のリハビリ・心の栄養づくり」～コミュニケーション講演会）	31 ページ
<u>16</u> <u>特定非営利活動法人人財育成支援センター</u>		
（wkwkカメラであそぼ！ 親子で撮影・自己表現体験講座）	33 ページ
<u>17</u> <u>特定非営利活動法人コハレ LABO</u>		
（ふなばし子ども食堂フェスティバル ～地域に飛び込み笑顔を増やそう～）	35 ページ
これまでの交付実績(平成22年度～令和 6 年度)	37 ページ

本事例集の発行にあたって

「船橋市市民公益活動公募型支援事業」は、「市民との協働によるまちづくり」があらゆる場面で展開されるように、市民の皆さんによる地域に役立つ取組みに対し、平成22年度に創設されました。

本事例集は、事業創設初年度から、事業を実施した団体の協力を得て毎年度作成しています。これまで作成した事例集は、市ホームページにて公開していますので、是非ご覧ください。

支援金の種別	支援率上限 ^(※2)			限度額
	1年目	2年目	3年目	
【Ⅰ型】 市民活動団体が行う、1つの公益的なイベント等の実施に対する支援金	90%	80%	70%	10万円
【Ⅱ型】 市民活動団体が行う、一連の公益的な活動に対する支援金	60%	50%	40%	100万円

令和6年度 交付実績

種別	申込(件)	採択(件)	交付決定(件)	交付(件)	交付額(円)
I型	18	17	17	17	1,160,840
II型	2	0	0	0	0
合計	20	17	17	17	1,160,840

事例紹介

(全 17 事業)

団体名	スペシャルキッズプロジェクト		
事業名	スペシャルキッズプロジェクト vol.12 和太鼓ワークショップ	種別	I型(2年目)

課題	・発達障がいや知的障がいのある子どもの家庭は、親子での外出を控えたり、諦めたりすることが多い
	・地域のイベントなどに参加しにくく、親子ともに自宅にこもりきりになる傾向がある

スペシャルキッズプロジェクト vol.12 和太鼓ワークショップ
【目的】発達障がいや知的障がいのある子どもとその家族と一緒に楽しめる場をつくる

<input checked="" type="checkbox"/> いつ? 令和6年9月14日(土) ①10:00-10:30 ②11:00-11:30 <input checked="" type="checkbox"/> どこで? 市民文化ホール <input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? 24家族69名 <input checked="" type="checkbox"/> 講師は? 和太鼓アーティスト USAGI <input checked="" type="checkbox"/> 参加費は? 1家族500円	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は? ・和太鼓に触れ、音を楽しむ ・お題「お月見といえは?」について考え、アイデアを発表 ・お題・イメージに合う音を言葉で練習し、和太鼓の音を探しながら表現する ・1人ずつ和太鼓を演奏 ・オリジナルの曲をみんなで作り、発表する
---	--

事業費(A) 65,303円 事業収入 12,000円	支援金(B) 47,733円 事業費に占める支援率(B/A) 73%
--	--

事業費内訳(単位:円)

1	報償費	27,700	4	会場使用料	20,690
2	消耗品費	1,513	1~4 合計(A)		65,303
3	チラシ・ポスター代	15,400			

効果	・障がいのある子どもの成長に必要な認知力や言葉、心、身体、コミュニケーション力の発達を促し、長所を伸ばす体験につながった
----	--

工夫したこと	① 公共施設や特別支援学級・学校へ広く周知し、参加枠を30組としたことで、昨年に比べて約1.7倍の参加者を受け入れることができた ② 人見知りや、場所慣れしない子どもに対する環境づくりに力を入れ、一人ひとりに合わせた支援をすることができた ③ ソロ演奏をすることで自己発揮でき、自己肯定感を高める体験を提供できた
--------	--

担当者より	参加したご家族が皆で豊かな時間を過ごせるよう努めました。特別支援において専門性の高いスタッフを招き、受け入れ枠を増やしつつ、一人ひとりに配慮が行き届く体制を整えました。また、事後アンケートを通じて参加者のニーズを把握し、その声を次回の企画にしっかりと反映していきます。今後も、お子さまの可能性を伸ばす体験を提供し、新たな出会いやつながりを大切にしながら活動を続けてまいります。
-------	--



ひとりずつソロ演奏に挑戦しました



和太鼓と旗でいよいよクライマックスへ！



アイデアを出し合い最後はオリジナル曲が完成しました

団体概要

発達のお子さん、発達障がい・知的障がいのあるお子さまとご家族を対象に、音楽やアート、スポーツ等のプログラムを企画し、専門の講師を招いてイベントを開催する活動をしています。楽しみながらお子さまの長所を伸ばし、支える側の大人たちにとっても支えの場所となること、そして障がいによる特性や困りごとについて理解のある、やさしい地域づくりを目指しています。

問い合わせ先 氏名: 杉尾麻帆

e-mail: special.kids.project@gmail.com

団体名	童謡文化の会	
事業名	童謡・唱歌を歌って学ぼう！パートⅡ	種別 I型(2年目)

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・童謡唱歌を歌う機会が少なくなっており、曲について学ぶこともほとんどない ・船橋にゆかりのある作詞家・斉藤信夫の童謡を知らない人がいる
----	--

事業内容・目的	<h3>童謡・唱歌を歌って学ぼう！パートⅡ</h3> <p>【目的】船橋にゆかりのある童謡について学ぶ 童謡・唱歌を皆で歌い、曲に込められた想いや背景について学ぶ機会の提供</p>																		
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ？ 令和6年9月27日(金) <input checked="" type="checkbox"/> どこで？ 市民文化創造館(きららホール) <input checked="" type="checkbox"/> 参加者は？ 223名 <input checked="" type="checkbox"/> 講師は？ たいら いさお氏(歌手・元大学講師)	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は？ 第1部 「童謡・唱歌講座」 第2部 ところに響く歌～日本の四季～ <input checked="" type="checkbox"/> 参加者の感想は？ 「講師の話がわかりやすく勉強になった」「作詞家・作曲家の当時の背景や心情を知った上で歌に触れると感情をこめて歌うことができた」との声があった。																	
	<table border="1"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>99,236円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>0円</td> </tr> </table>	事業費(A)	99,236円	事業収入	0円	<table border="1"> <tr> <td>支援金(B)</td> <td>79,388円</td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td>80%</td> </tr> </table>	支援金(B)	79,388円	事業費に占める支援率(B/A)	80%									
	事業費(A)	99,236円																	
	事業収入	0円																	
支援金(B)	79,388円																		
事業費に占める支援率(B/A)	80%																		
事業費内訳(単位:円)																			
<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>講師・伴奏謝礼</td> <td>50,000</td> <td>4</td> <td>切手代</td> <td>3,360</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>印刷用紙・インク代</td> <td>6,568</td> <td>5</td> <td>会場使用料</td> <td>36,070</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ポスター・チラシ代</td> <td>3,238</td> <td>1~5</td> <td>合計(A)</td> <td>99,236</td> </tr> </table>	1	講師・伴奏謝礼	50,000	4	切手代	3,360	2	印刷用紙・インク代	6,568	5	会場使用料	36,070	3	ポスター・チラシ代	3,238	1~5	合計(A)	99,236	
1	講師・伴奏謝礼	50,000	4	切手代	3,360														
2	印刷用紙・インク代	6,568	5	会場使用料	36,070														
3	ポスター・チラシ代	3,238	1~5	合計(A)	99,236														

効果	<ul style="list-style-type: none"> ・童謡・唱歌を歌うだけでなく、曲の背景や作者の想いを理解し、また、船橋にゆかりのある童謡に愛着を持ち、次世代に歌い継いでいくきっかけとなった。
----	---

工夫したこと	<p>① 前回の反省をもとに、今回は当日配布資料のセッティングは印刷時に済ませ、当日は受付に置くだけにしたので、開場前の受付の準備がスムーズに済みました。</p> <p>② ホール内の誘導係を増員し、客席案内もスムーズにいきました。</p>
--------	--

担当者より	<p>船橋市にゆかりのある童謡は少なく、講師と相談し昨年に引き続き斎藤信夫作詞の童謡の中から、今年は「夢のお馬車」と「ばあや訪ねて」の2曲を取り上げました。参加者の多くの年代から知っているものと思っていましたが、2曲とも聴いたら思い出したという方が多かったようで、歌声も静かでした。「ばあや訪ねて」は情緒ある童謡ですので、是非覚えて歌って頂けたらと思いました。千葉県にゆかりのある曲は「証城寺の狸囃子」「浜千鳥」を取り上げましたが、こちらは皆さんご存知で、元気な歌声が会場いっぱいに響き渡りました。今回もきららホール満席に近い参加者の方々に楽しく学び、大きな声で歌って満足して頂けて、開催してよかったと思えました。このようなイベントをまた何らかの形で開催出来たらと思っています。</p> <p>最後になりましたが、市のご支援・ご協力ありがとうございました。</p>
-------	--

令和6年度 船橋市市民公益活動公募型支援事業

童謡・唱歌を歌って学ぼう

パート II

♪船橋ゆかりの童謡など、その歌への作詞家・作曲家の思いや、歌のできた背景などを学びながら～みんなで歌いましょう♪

プログラム

第1部 童謡・唱歌講座
講師: たいら いさお

船橋ゆかりの童謡より
♪夢のお馬車 ♪ばあや紡ねて
千葉ゆかりの童謡より
♪証城寺の鐘響子 ♪浜千鳥
だれでも知っている歌
♪みかんの花咲く丘 ♪砂山

*曲目は当日変更になる場合もあります

第2部 こころに響く歌～日本の四季～
ピアノ伴奏: 篠田 恵

♪早春賦 ♪我は海の子
♪旅愁 ♪冬の星座
♪風をください

エンディング “みんなで歌いましょう” ♪故郷

【講師紹介】 元 NHK“うたのおにいさん”、アニソン歌手、代表曲「復活のイデオ」他、現在、歌手活動の他、各地での童謡講座や指導者としても活躍中、元洗足学園音楽大学講師、「童謡文化の会」講師、他講師活動多数、第25回「日本童謡賞・特別賞」受賞。



令和6年 **9月27日(金)** **10時30分開演**
(10時開場)

会場: 船橋市民文化創造館(きららホール) フェイスビル6階

入場無料

お問い合わせ/参加お申し込み
電話/FAX 047-422-2222
携帯 090-422-2222

市の補助金を活用して実施するワーン!
船橋市市民公益活動公募型支援補助金
船橋市市民公益活動公募型支援補助金
船橋市市民公益活動公募型支援補助金

主催: 童謡文化の会

チラシとチケット



前回皆さんから講師たいら氏にソロで歌って欲しいという要望があり、今回はその声に応えて、「この道」「もう一度会えたなら」の2曲を歌って頂きました。ソフトな優しい歌声が会場に響き渡りました。「もう一度会えたなら」の歌は初めて聴いたが、胸がいっぱいになったという方が多くいました。



講師の話を熱心に聞き、頷き、歌い、会場いっぱいの暖かい拍手を送って下さった参加者の皆さんでした。ほぼ満席に近い参加者の皆さんの歌声もホール内に響きわたりました。



月1回、集まりの中で練習した「早春賦」「われは海の子」「旅愁」「冬の星座」「風をください」の5曲、会員の合唱を聴いて頂きました。最後は会場の皆さんと「故郷」を歌って幕を閉じました。

団体概要

令和元年10月に発足した「童謡文化の会」は、月一回の集まりで当初は童謡・唱歌を中心にその曲の作詞家・作曲家の思い、作られた背景を学びながら、どのように歌ったらよいかを学ぶことができました。

令和5年10月より、講座「皆んなで歌って！皆んなで学ぼう！」～歌で巡る日本の旅情～と題して、現在は童謡唱歌を始め、抒情歌、日本歌曲、流行歌等幅広い歌を歌っています。今までの内容に加え、その歌にゆかりの深い土地などの事も学び、日本中を歌で楽しく旅する講座です。またイベント開催が決まると、発表曲の合唱練習にも励んでいます。

問い合わせ先

氏名: 篠永 誠子

e-mail: seiko-s@kaitekiseikatsu-club.jp

団体名	いごっちクラブ	
事業名	「囲碁で友だちの輪をつくろう！」	種別 I型(2年目)

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・近所付き合いが少なく、地域の活動がないため、子供たちと交流する機会が少ない ・サッカー等スポーツの活動による交流はあるが、文化的な活動をする場があまりない
----	---

事業内容・目的	「囲碁で友だちの輪をつくろう！」 【目的】 囲碁の楽しさを実感する 囲碁を通じた近隣地域の子どもたちや保護者の文化的な交流の場の提供									
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ? 令和6年7月28日(日) <input checked="" type="checkbox"/> どこで? 浜町公民館 <input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? 44名 市内小学校(8校)及び幼稚園(4園)の子どもたちが参加。親子参加も可能とした。 <input checked="" type="checkbox"/> 講師は? 山下 功氏(ふなばし囲碁協会会長)	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は? ・講師から囲碁の魅力・ルール説明 ・模範対局 ・プリント問題をやり、わかる!できる!を実感。 ・対局を実施。2回目以降は自分で新しい友達を探し対局を続けた。(1人あたり7~10回程度 対局)								
	<table border="1"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>60,623円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>0円</td> </tr> </table>	事業費(A)	60,623円	事業収入	0円	<table border="1"> <tr> <td>支援金(B)</td> <td>48,498円</td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td>80%</td> </tr> </table>	支援金(B)	48,498円	事業費に占める支援率(B/A)	80%
	事業費(A)	60,623円								
事業収入	0円									
支援金(B)	48,498円									
事業費に占める支援率(B/A)	80%									
事業費内訳(単位:円)										

1	講師謝礼	30,000	4	チラシ送付代	7,910
2	消耗品費	10,341	1~4 合計(A)		60,623
3	チラシ・資料代	12,372			

効果	<ul style="list-style-type: none"> ・囲碁を通して心理的な距離も縮まり、子どもたちの視野が広がった。 ・学校・学年を超えた友達ができた。
----	---

工夫したこと	2年目の開催となったので、前回の反省を活かし会場を広い講堂を借りた。参加する子供たちはもちろん、周りで見学する保護者も自分たちも見て回りやすくなったのがよかった。SNS対策のため、あらかじめ写真NGの人の名札に目印のシールをつけてもらった。子ども達の真剣に考える顔、勝って喜んだり負けて悔しがる顔、はじめましての子に声をかける勇気、教わったり教えたりする姿…できるだけ近くで子ども達の表情を見てもらえるように配慮した。
--------	---

担当者より	子ども同士の交流が一番大事だと思っているので、最後に「友達ができた!」と言ってもらえたのが嬉しかった。 親子での参加を推奨したため、親も子どもと一緒に考えて囲碁にチャレンジできた。また、帰宅した後も同じ話題で楽しめたのではないかと思います。
-------	---



子ども達の対局を応援する保護者と先生

最後の勝敗はわかりにくいので先生に聞きます



囲碁ってどんなもの？最初はプリントをやって、模範対局を見てもらいます。



保護者も一緒に真剣に考えます！

団体概要

「いごっちクラブ」は小学生を対象とした囲碁サークル。設立 16 年目。
ボランティアの先生 3 名と保護者で運営している。
船橋青少年会館で土曜日の 9:30～11:30 に活動中。見学・無料体験随時募集。

問合わせ先 氏名: 細根聡美

e-mail: igocchiclub@yahoo.co.jp

団体名	むねあかどり	
事業名	『地域のHUB（ハブ）=つなぎ役に』 高齢社会・障害者福祉を学び、介護してる方へのリフレッシュを。	種別 I型(2年目)

課題
・超高齢化社会における高齢者への理解、認知症に対する知識が不足している。

『地域の HUB（ハブ）=つなぎ役に』 高齢社会・障害者福祉を学び、介護してる方へのリフレッシュを。

【目的】・地域密着型のカフェと共に力を合わせるにより地域の活性化に繋げる
・地域住民に認知症、高齢社会、福祉についての学びを啓発することにより、住みやすい地域共生社会を目指す

事業内容・目的

<input checked="" type="checkbox"/> いつ? 令和6年11月23日(土) 午前の部 10時開始 午後の部 14時開始 <input checked="" type="checkbox"/> どこで? カフェシニア <input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? 40名 近隣住民、当事者とその介護者	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は? ・手話を活用したコミュニケーション体験 ・習志野台地地域包括支援センターの協力による、終活ノートを用いたワークショップ ・参加者にとってひとときの安らぎ、明日へのエネルギーとなるよう、音楽を通しての交流
---	---

事業費(A) 59,688円	支援金(B) 47,750円
事業収入 0円	事業費に占める支援率(B/A) 80%

事業費内訳(単位:円)

1	報償費	57,000	1~2 合計(A)	59,688
2	コピー・チラシ代	2,688		

効果
・高齢者への理解、認知症に対する知識が深まった
・音楽を通じて互いに手を差し伸べたり、そっと寄り添う体験を共有でき、「真のコミュニケーション」が生まれた

工夫したこと
音楽は例年同じ演者に依頼しているため、流れも把握しており、その目的も理解されているため、皆で『上を向いて歩こう』を歌うこともできた。
手話講座は、クイズ形式にするなどして盛り上がった。お互いはじめましての人とお話をすることもできた。地域包括支援センターのスピーカーの方には 船橋市の『大切な人に伝えるノート』をもとに、終活についての考え方を各グループでディスカッションするなどした。
ひとつの会の中に様々な特色を出し濃厚な時間を作ることができた。今回は特に、船橋市で提供している冊子を利用することで、行政と繋がることを伝えることができたと思う。

担当者より
回を重ねることにより、発表者も慣れてきて工夫が見られるようになってきて毎年顔合わせる参加者もいて、コミュニケーションの取り方もうまいくようになってきた。カフェを利用しイベントを企画していたが、こちらのカフェが閉店となるため、2025年度の場所について検討していく。



手話講座をしているところ



手作りシフォンケーキとコーヒー



音楽の時間



地域包括支援センターの森田様による
終活について

団体概要

地域住民に認知症、高齢社会、福祉について広報することで住みやすい船橋市、地域共生社会を目指す。

問合わせ先

氏名: 松本直子

e-mail: n.grace.home.ask.0331@gmail.com

団体名	ゴスペル・ママズ	
事業名	「歌って、ハモってリフレッシュ！ゴスペルワークショップ」	種別 I型(2年目)

課題 ・3年以上続いたコロナ禍で閉塞感をいだき人前で声を出すことが少なくなり、ストレスを抱えていたり、心身に不調をきたす方が多い

「歌って、ハモってリフレッシュ！ゴスペルワークショップ」
【目的】発声やリズム練習でリラックスし、歌の練習で声を出しリフレッシュしてもらい、ハーモニーが重なる喜びを感じてもらう

事業内容

- ☑ いつ？ 令和6年9月25日(水)
- ☑ どこで？ 二和公民館
- ☑ 参加者は？ 76名
(30代～80代まで幅広い世代)
- ☑ 参加者の様子は？
「たくさんの楽しい刺激をもらえた」「一緒に歌う楽しさを思い出した」など、明るくいい笑顔をされていたのが印象的だった。

目的

事業費(A) 91,385円 事業収入 0円	支援金(B) 73,108円 事業費に占める支援率(B/A) 80%
---	--

事業費内訳(単位:円)

1	講師謝礼等	56,000	4	保険料	4,800
2	消耗品費	2,685	5	会場使用料	22,590
3	印刷製本費	5,310	1～5 合計(A)		91,385

効果 ・練習した歌を歌ったり、好きな歌を歌ったり、音楽に耳を傾けることにより、気持ちが明るくなり前向きに過ごせるようになった

工夫したこと 初めてゴスペルに触れる参加者もいると想定されたので、初心者でも取り組みやすい比較的簡単なゴスペル曲を課題曲とした。
 曲を仕上げるだけでなく、最後に参加者全員ステージに上がってもらい、ライブ形式で発表。ステージ上でパフォーマンスする楽しさを体感してもらう場を設けた。

担当者より 今回の事業では、30代～80代までの幅広い世代の、多くの方に参加頂きました。実施後のアンケートより、「久しぶりに声を出して楽しかった」「一緒に歌う楽しさを思い出しました」「本格的にゴスペルの気分が味わえた」「明るい気持ちで帰れます！」など、本事業に満足頂いた声が多く寄せられました。
 力強い歌声と感情豊かな表現が特徴のゴスペルを体感することによって、心も体もリフレッシュできたことに大きな成果を感じることができました。

ストレッチ、リズム体操、発声練習



ゴスペル・ママズのデモ歌唱(課題曲)



パートに分かれて音取り練習



参加者のみでのステージ演奏



団体概要

2002年に船橋市塚田地区のママ友達で結成した女性ゴスペルサークル。
「世代を超えた交流」「地域での社会貢献」「女性の自己表現」を目的に、地域・世代を越えてメンバーが集まり、活動しています。

問い合わせ先 氏名: 牧 典子

e-mail:gospelmums2002@gmail.com

団体名	はぐくみハグミー	
事業名	障がい児と家族のための避難所づくりワークショップ	種別 I型(1年目)

課題

- ・障がい児と防災に関して、正確かつ的確な情報を収集する方法が明確ではない
- ・支援学級や普通級に通う障がい児に関しては、災害時の対応について知る機会がない
- ・公助に関する情報や支援者同士の繋がり、ネットワーク等もあまり知られていない為、実際に災害が起きた場合に不安と混乱が起きる可能性がある

障がい児と家族のための避難所づくりワークショップ

【目的】避難について考える・知る機会の提供
当事者意識を高め、助け合える横の繋がりをつくる機会の提供

事業内容・目的

<input checked="" type="checkbox"/> いつ？ ①令和6年11月5日(火) ②令和6年11月12日(火)	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は？ ①「障がい児のいる家庭こそ在宅避難の準備を進めよう」、「具体的に考えよう！食とトイレ、我が子の備え」 ②「みんなで考える障がい児にやさしい避難所づくり」、「わが子が暮らせる避難所づくり」
<input checked="" type="checkbox"/> どこで？ 高根台公民館	
<input checked="" type="checkbox"/> 参加者は？ 知的・身体障がい児の保護者①19名 ②17名	
<input checked="" type="checkbox"/> 講師は？ 平田 千重氏 (船橋 SL ネットワーク事務局長)	

事業費(A) 21,490円 事業収入 0円	支援金(B) 19,341円 事業費に占める支援率(B/A) 90%
---------------------------	--

事業費内訳(単位:円)

1	報償謝礼	10,000	4	会場使用料	990
2	インク・文具代	5,880	1~4 合計(A)		21,490
3	印刷製本費	4,620			

効果

- ・当事者が一緒に考える機会を設けることで、市内全体の障がい児の保護者が横の繋がり
の必要性を認識し、危機意識の底上げに繋がった

工夫したこと

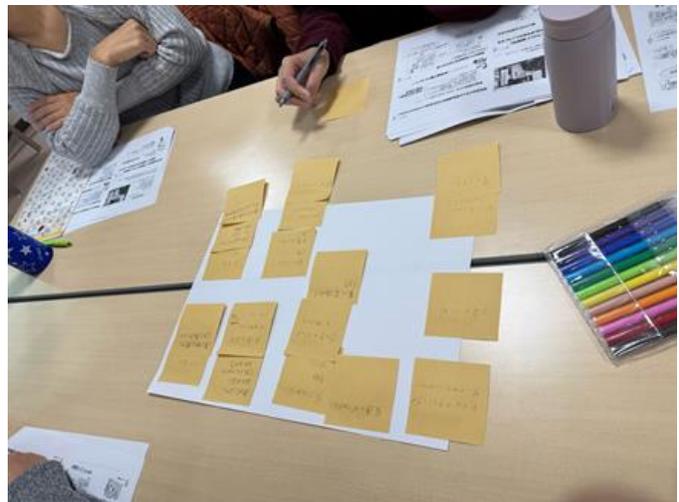
- ・開催を2回に分けたことで、参加者のスケジュール調整がしやすくなった。また、1回目に参加した方が2回目開催日までに、1回目で学んだことを実際に行動に移し、その報告を聞くことができ、また講師にも共有することができた。
- ・ワークショップをグループで行ったことで、この作業を通して会話のきっかけとなり、休憩時間には防災以外の進路や障がいの状態などについて情報交換の場として活用されていた方もいた。
- この交流の場を機会に、その後の活動やイベントにも参加される方が増え、保護者の情報交換やリフレッシュの場として継続して用いられていることは主催者側として、とても嬉しいです。

担当者より

昨年度から市民公益活動公募型支援事業として採択して頂き、団体が周知されたことで活動の幅が広がったことと同時に、課題も出てきました。「障がい児・者を見守り支え合う地域社会の実現に向けて「未来」に繋げていく活動」が当団体の理念の一つです。船橋市の社会福祉全体の底上げを期待するにあたり、今年度は他団体との協働も目標にし、2団体とコラボが実現しました。来年度以降も、事業所や地域の他団体の皆様とも協働しながら、また市役所と保護者の声を繋ぐパイプ役として、地域に根ざした活動をしていきます。

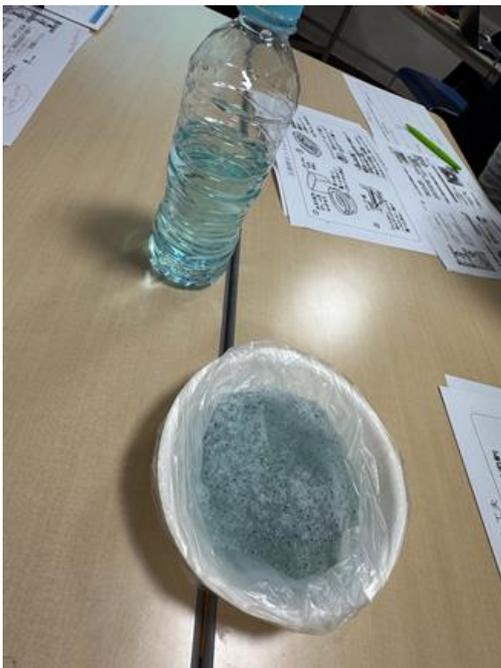


1. ワークショップ風景



2. ワークショップ

(参加者同士が活発に意見交換をし、新しい気付きとなる時間になりました)



3. ワークショップ体験

団体概要

発達障がい、ADHD、身体的障がい、ダウン症など、発達に不安のある子を持つ保護者で発足しました。多くの情報源を持つ保護者同士が繋がることで、将来への不安を少しでも軽減し、大きな声として問題提起をし、社会の仕組みや制度が改善されるよう働きかけ、子どもたちの未来の生活のしやすさを創って行きたいです。「今」だけの活動ではなく、障がい児・者を見守り支え合う地域社会の実現に向けて「未来」に繋げていく活動をしています。

問合わせ先 氏名: カワオト

e-mail: hagukumihagumii@gmail.com

団体名	特定非営利活動法人終活支援センター千葉		
事業名	明日からの人生を生き生き過ごすために “終活” を楽しく学び ましょう	種別	I 型(1年目)

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢化に伴い「老後をいかに充実させ楽しく生きるか」「もしもの場合の相続が争族にならないようには」等の問題が多くある ・市民が「終活」をテーマに総合的に学べるセミナーが必要である
-----------	---

事業内容・目的	明日からの人生を生き生き過ごすために “終活” を楽しく学びましょう											
	【目的】ニーズに応えた心豊かな老後の暮らし方、死後の準備、円満な財産の相続を考え、支援する事業を行い、広く公益に貢献する											
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ? ①令和6年5月18日(土) ②令和6年7月20日(土) ③令和6年9月21日(土) ④令和6年11月16日(土) ⑤令和7年1月18日(土)	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は? ①実例から学ぶ 遺言書の書き方 ②医療現場から感じた生と死について ③伊能忠敬に学ぶ “一身二生” という生き方 ④ケアマネジャーと一緒に終活を語ろう ⑤他者の生き方から学ぶ 今からあなたができること	<input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? ① 16名 ②15名 ③18名 ④ 14名 ⑤16名	<input checked="" type="checkbox"/> どこで? 勤労市民センター								
	<table border="1"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>64,742円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>0円</td> </tr> </table>	事業費(A)	64,742円	事業収入	0円	<table border="1"> <tr> <td>支援金(B)</td> <td>58,267円</td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td>90%</td> </tr> </table>	支援金(B)	58,267円	事業費に占める支援率(B/A)	90%		
	事業費(A)	64,742円										
事業収入	0円											
支援金(B)	58,267円											
事業費に占める支援率(B/A)	90%											
事業費内訳(単位:円)												
	1	報償費	32,680	3	会場使用料	28,300						
	2	チラシ代	3,762	1~3	合計(A)	64,742						

効果	<ul style="list-style-type: none"> ・「終活」の知識を深め、今までの振り返りをする事で、人生100年時代の人生を安心して過ごすことができるヒントを提供できた ・「終活」について共に学ぶ仲間や、専門家との繋がりを持つ機会を提供できた
-----------	--

工夫したこと	<p>4月の時点で全5回の年間セミナー計画をチラシで配布できたため、「終活」に興味を持ってくださった方が、セミナー参加の予定を入れやすかったようで、複数回参加者が多かった。</p> <p>「終活」という言葉(意味)は幅広い。外部講師を招いたことで「終活」の捉え方を実用だけでなく、心の持ちようなど幅広く捉えられるようにした。また、毎回、一方的に講義を聞くだけのセミナーにならないよう「マイライフノート」を使い、自らの人生の振り返りの時間をもうけた。</p>
---------------	--

担当者より	<p>複数回参加者が多く、単発の講座に比べて、参加者が「終活」の流れや知識を深めることにつながった。今までの振り返りをする事ができた様子。5回ともテーマを変えていたが、必ず「マイライフノート」を使って、参加者に書き込みなど行ってもらい、その回のテーマを毎回自分ごととして捉えてもらうようにした。</p> <p>参加者からの質問も多く出て、セミナー講師、参加者が相互に意見交換もできた。</p>
--------------	--



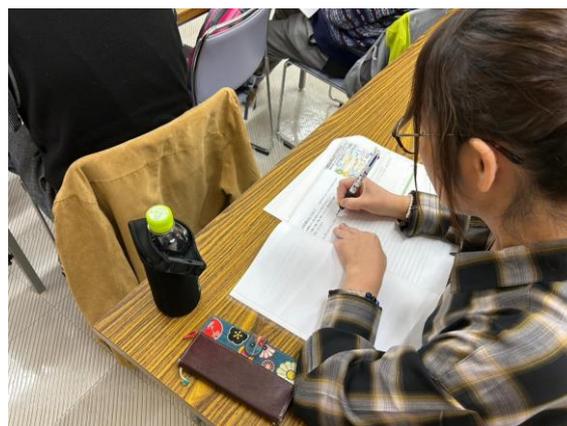
第1回セミナー
「実例から学ぶ 遺言書の書き方」
入り口には全5回のセミナーチラシを掲示



第3回セミナー
伊能忠敬記念館学芸員さんによる「伊能忠敬に学ぶ“一身二生”という生き方」



第4回セミナー
ケアマネさんによる「ケアマネージャーと一緒に終活を語ろう」



毎回、講師によるお話の後に「マイライフノート」の説明。
参加者はお渡ししたノートに書き込みをしている。

団体概要

超高齢社会に突入した日本。「誰もが老後へ向かう人生の中で、少しでも老後の心配事を減らすことができれば」。＜終活＞をテーマに、そこから派生する様々なこと(人生の終幕を迎えるための身辺整理、空き家問題、相続、遺言作成など)に対して地域の皆様により良い提案とお力添えができればと、2015年11月に設立した。

問合わせ先 氏名: 小出広子

e-mail: hiroko@ka2.so-net.ne.jp

団体名	丸山サンクチュアリ	
事業名	大切な市民の森を皆で守り育てよう！！	種別 I型(1年目)

課題 ・住宅地化等により昔からの雑木林や森が無くなってきており、残された貴重な森は、より良い状態に清掃・保全する必要があるが、市内での森の保全活動に携わることができる人材の高齢化により十分なケアができなくなりつつある

大切な市民の森を皆で守り育てよう！！
【目的】自然尊重と愛護の思想普及
 市内での森の保全活動に携わることができる人材を増やす

<input checked="" type="checkbox"/> いつ？ ①令和6年5月19日(日) 9:30-12:10 ②令和6年10月27日(日) 9:30-12:00	<input checked="" type="checkbox"/> 講師は？ 平栗 瑞枝氏(自然観察指導員)
<input checked="" type="checkbox"/> どこで？ 法典公民館、藤原市民の森緑地、丸山の森緑地	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は？ 自然観察会の実施。 公民館での講義のあと、藤原市民の森緑地や丸山の森緑地をまわり、多くの花・木・鳥・動物・昆虫について、漢字名・由来・効能などの話を聞いた。
<input checked="" type="checkbox"/> 参加者は？ ①21名 ②16名	

事業費(A)	36,770円	支援金(B)	33,093円
事業収入	0円	事業費に占める支援率(B/A)	90%

事業費内訳(単位:円)

1	報償費	30,000	4	保険料	1,000
2	消耗品費	440	5	会場使用料	1,350
3	チラシ代	3,980	1~5	合計(A)	36,770

効果 ・参加者が講師の解説により森の動植物に関する学びを得たことで、森の保全の重要性、森を守ることの大切さを理解し、主体的に環境保全活動に参加するきっかけとなった

工夫したこと

- ・両緑地には貴重な花や昆虫などが生息しており、これらを守っていくことの大切さを参加者の方に理解していただくため、平栗先生の花木の特徴・由来などの楽しいお話を通じて、楽しく学んでいただくことを目指しました。
- ・広報ふなばしに開催案内を掲示するとともに、各公民館・図書館にチラシを配架し、広く市民の方々に参加していただけるように配慮しました。

担当者より

2回続けての参加を条件とし、2回目の募集はしなかったため、2回目の参加者はやや少なくなりましたが、皆さん、初夏と秋の自然の中で、平栗先生の花木の利用方法・名前の由来・関連した挿話など、ためになるお話が聞け、とても充実した楽しい時間を過ごすことができました。

参加者の方からもまた是非参加したいとの感想をいただきました。

1回目：令和6年5月19日開催



2回目：令和6年10月27日開催 右はトリカブトの花



団体概要：

当会は1985年6月に設立され、あるがままの自然(聖域=サンクチュアリ)の野鳥や植物に接して学びかつ楽しみ、自然尊重と愛護の考えに基づき健康で明るい社会の発展に役立つことを目的としています。藤原市民の森緑地と丸山の森緑地の貴重な森を皆さんが気持ちよく利用できるように、市からの委託を受け、ごみ拾い・清掃や草取りを中心に活動しています。できるだけ自然の状態を保つために、枝切りやはびこってきた外来植物も駆除しています。毎月の探鳥会も重要な活動です。

問合わせ先 氏名: 中村 篤

e-mail: anakamur555@gmail.com

団体名	ハーモニーship	
事業名	舞台美術ってどんなもの？学んでみよう！つくってみよう！	種別 I型(1年目)

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事での表現活動時間の減少 ・異なる年齢の人とのコミュニティーが少なく、多様な考え方が困難 ・子供だけでなく、大人も表現活動の場が必要
----	--

事業内容・目的	<h3>舞台美術ってどんなもの？学んでみよう！つくってみよう！</h3> <p>【目的】舞台美術を学び、工夫して作る事、1つものを大勢で作る一体感や多様性を体感する</p>																				
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ？ 令和6年7月27日(土) <input checked="" type="checkbox"/> どこで？ 健伸学院 <input checked="" type="checkbox"/> 参加者は？ 31名 <input checked="" type="checkbox"/> 講師は？ 吉田 信子氏 (atelier gekka) <input checked="" type="checkbox"/> 参加費は？ 1人500円	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は？ 絵の具を塗り、紙をちぎる・切る等して舞台上で使用する装飾や小道具を作成。 作業毎に年齢に応じた作業を自ら選び、楽しみながら作業し、パネル、切り株、魔女の箒等を完成させた。																			
	<table border="1"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>90,346円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>15,500円</td> </tr> </table>	事業費(A)	90,346円	事業収入	15,500円	<table border="1"> <tr> <td>支援金(B)</td> <td>74,846円</td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td>83%</td> </tr> </table>	支援金(B)	74,846円	事業費に占める支援率(B/A)	83%											
	事業費(A)	90,346円																			
	事業収入	15,500円																			
支援金(B)	74,846円																				
事業費に占める支援率(B/A)	83%																				
事業費内訳(単位:円)																					
<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>講師謝礼</td> <td>31,000</td> <td>4</td> <td>保険料</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>消耗品費</td> <td>27,666</td> <td>5</td> <td>会場使用料</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>チラシ代</td> <td>23,680</td> <td colspan="2">1~5 合計(A)</td> <td>90,346</td> </tr> </table>				1	講師謝礼	31,000	4	保険料	5,000	2	消耗品費	27,666	5	会場使用料	3,000	3	チラシ代	23,680	1~5 合計(A)		90,346
1	講師謝礼	31,000	4	保険料	5,000																
2	消耗品費	27,666	5	会場使用料	3,000																
3	チラシ代	23,680	1~5 合計(A)		90,346																

効果	<ul style="list-style-type: none"> ・モノづくりを通して、作る喜び、協力する充実感を得ることができた ・共に協力することで、様々な年齢の人と接し、話すことができた
----	--

工夫したこと	<p>多くの方に知ってもらえるように、市内小学校にチラシを配布した。</p> <p>舞台上で使うため、照明などを意識した素材、かつ子供達に身近な素材。</p> <p>親子でも楽しめる、子供でも難しくない作業を選べるようにした。</p> <p>学校では習わない、作業工夫や体験を意識して計画。</p>
--------	---

担当者より	<p>皆さん、夢中になって作業をしてくださいました。</p> <p>親子で参加でき、何歳でもできる、みんなで一つのものを作るという作業はなかなか学校では体験できないと思いました。学校では個人的は作品が主になってしまうので。</p> <p>広い場所が必要なので、場所の確保が課題かと感じました。</p>
-------	--



木の葉を切る 色画用紙を切る



切り株をつくる
発泡スチロールで、木の形を作成➡木の色をぬる



パネルに葉っぱをつける(木のパネル作成)



魔女の箒の色塗り(黒と白)

団体概要

様々な人が調和(ハーモニー)し、同じ目標に向かう事(舞台を作る)で知らなかった自分を見つけたいと思います。音楽を楽しみ、日常とはちょっと違う舞台を通し、初めての体験や出会い、生活に彩りを添え、笑顔になる活動をしています。

問い合わせ先 氏名: 篠原

e-mail:ozunomahou@gmail.com

団体名	船橋市聴覚障害者協会	
事業名	「ヒゲの校長」上映会	種別 I型(1年目)

課題	・聴覚障害者が生活をする上で、緊急放送等の音声情報が入らず、情報に取り残されてしま うことが多い
	・聴覚障害者や手話言語に対する理解不足を解決したい

事業内容・目的	「ヒゲの校長」上映会									
	【目的】障害の有無に関わらず、ともに暮らしやすい社会、「共生社会」の実現を目指す									
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ? 令和6年5月6日(祝) ①9時半~ ②13時~ <input checked="" type="checkbox"/> どこで? 船橋市民文化創造館 きららホール <input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? 261名 <input checked="" type="checkbox"/> 参加費は? 1人500円	<input checked="" type="checkbox"/> 講師は? 谷進一氏(映画監督) <input checked="" type="checkbox"/> 内容は? ・「ヒゲの校長」の上映 ・現在に至るまでのろう運動を描いた映画監督による講演 ・参加者からの質疑応答								
	事業費(A) 215,960円 事業収入 130,500円	支援金(B) 85,460円 事業費に占める支援率(B/A) 40%								
	事業費内訳(単位:円)									
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>講師謝礼</td> <td>49,140</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>会場使用料</td> <td>166,820</td> </tr> <tr> <td>1~2</td> <td>合計(A)</td> <td>215,960</td> </tr> </table>		1	講師謝礼	49,140	2	会場使用料	166,820	1~2	合計(A)
1	講師謝礼	49,140								
2	会場使用料	166,820								
1~2	合計(A)	215,960								

効果	・市民の方々に対し、「聴覚障害」「手話言語」「ろう運動の歴史」等についての理解・啓発ができた
----	--

工夫したこと	<p>手話の排除という時代があった歴史、聞こえない私たちにとって「いのち」でもある言語「手話」をずっと大事に守っていく。そのためには、聞こえる人達にも広く理解をいただくことが必要だと考え、市役所や各公民館などへの配布、市議会議員の先生方への招待も行いました。</p> <p>また、船橋市教育委員会の御協力を賜り、各小中学校にチラシの配布を行いました。映画監督を講演にお招きするために経費がかかることから、他の経費削減のために、チケットを手作りするなど、自分たちでできることを工夫しました。</p> <p>どのように感じていただけたか知りたく、受付時にアンケート配布も行いました。</p>
--------	---

担当者より	<p>今回は市民協働課の皆様をはじめ、船橋市にもご後援いただき、無事に開催することができました。また、映画監督にお越しいただき、映画製作についてだけでなく、聞こえない人と聞こえる人と共同で作り上げる大変さなども共有することができました。ゴールデンウィークの最終日だったこともあり、お子様の参加が少なかったことが残念に思いましたが、また機会がありましたら、聴覚障害や手話言語への理解促進のために行事などを計画していきたいと思いました。御協力に心より御礼申し上げます</p>
-------	---



＜受付時の様子＞
事前申込、当日購入と
分けました。



＜上映時の会場の様子＞
たくさんの方にご来場いただきました。



＜終了後に監督を交えての
実行委員記念写真＞
無事に終えてほっとしました。

ヒゲの校長
映画
監督 船橋市立船橋高等学校
監修 船橋市立船橋高等学校
制作 船橋市立船橋高等学校
制作 船橋市立船橋高等学校
制作 船橋市立船橋高等学校

日程：2024年5月6日（月・祝）
会場：船橋市民文化創造館（せらふホール）
交通アクセス：京成船橋駅 徒歩1分、京成船橋駅 徒歩3分

【午前の部】10時00分～（受付 9時30分～）
上映後に各館一監督講演（30分）

【午後の部】13時30分～（受付 13時00分～）
上映後に各館一監督講演（30分）

※予定上映時間：120分【字幕が付きます】
上映後に各館一監督の講演があります（30分）

チケット：観 料 【小学生・中学生・高校生】
500円 【大人】

★船橋市市民公益活動公募型支援補助金を活用して実施します（船橋市 市民協賛）★

【申込方法】
(1) チケット販売（サークル各組合が担当）
(2) QRコード
(3) メール：e-nomura@city-funaoka.jp（無料）
(4) FAX：047-423-1172（無料）

お申し込みはこちら
QRコード

＜配布したチラシ＞

団体概要

船橋市内在住の聴覚障害者の福祉向上と社会参加のために、いろんな催しを企画したり、市民まつりに参加するなど、一般の方とともに活動するように心がけています。
聴覚障害や手話言語に対する啓蒙活動や小中学校・高校や大学で手話指導も行わせていただいております。
「聞こえない仲間をひとりにしない」をモットーに行事への参加などを広く呼び掛けています。
また、聴覚に障害があるがゆえに、耳からの音声情報が入りづらいため、船橋市だけでなく、千葉県内での聴覚障害に関する情報提供も行っています。

問合わせ先 氏名: 三浦 みどり e-mail: sweetpotatopiano465@yahoo.co.jp

団体名	NPO 法人 ネモ ちば不登校・ひきこもりネットワーク		
事業名	講演会&相談会「どうする不登校・ひきこもり～子どもとともに生きる PartⅡ～」	種別	I 型(1年目)

課題 ・子どもの不登校・ひきこもりで悩んでいるご家族に対し、民間での受け皿が少ない

講演会&相談会
「どうする不登校・ひきこもり～子どもとともに生きる PartⅡ～」
【目的】当事者の気持ちを楽しみ、自分らしさを取り戻すことができるように当事者の気持ちを理解し寄り添い、学ぶ

事業内容

<input checked="" type="checkbox"/> いつ? 令和6年9月28日(土) <input checked="" type="checkbox"/> どこで? 勤労市民センター <input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? 78名 不登校・ひきこもりの子どもをもつ家庭、子どもに関わる支援者 <input checked="" type="checkbox"/> 講師は? 内田 良子氏(心理カウンセラー)	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は? 質疑応答をメインとした講演会および相談会 「もっと話が聞きたい」「質疑応答の時間をもとってほしい」という要望を受け構成を考えたことで、参加者全ての質問に講師が答えることができた。
---	--

目的

事業費(A)	84,589 円	支援金(B)	75,600 円
事業収入	0 円	事業費に占める支援率(B/A)	89%

事業費内訳(単位:円)

1	報償費	54,700	4	チラシ・ポスター送料	2,290
2	文具代など	18,562	1~4 合計(A)		84,589
3	チラシ代など	9,037			

効果 ・不登校・ひきこもりの当事者のご家族、支援者などにそれぞれの立場で理解を深めてもらうことができた

工夫したこと 前年度、同じ講師で講演会を行った際の要望を受け、質疑応答の時間を長く取る形で講演会&相談会を行った結果、参加者の方にとってより満足度の高い内容になりました。また、今回は市民協働課のご協力により、船橋市内の公民館・図書館にポスター掲示・チラシ配架をしていただけたおかげで、会場近隣の方々に広く知ってもらうことができ、当団体のイベントに初めて参加された方も多く見られました。

担当者より これまで何度もお招きしたことある、不登校・ひきこもりの当事者とそのご家族に人気の高い内田良子さんの講演会ですが、今回も早い時点で予約で満席になりました。質疑応答では他の方の質問への回答がご自分にとっても参考になったり、同じような悩みを持っている人が他にもいることを知るだけでも、ちょっと気持ちが楽になったりする方が多かったようです。支援者の方の参加も多く、「子どもの気持ちに寄り添える大人でいたい」「支援者として大変勉強になった」というご感想をいただきました。



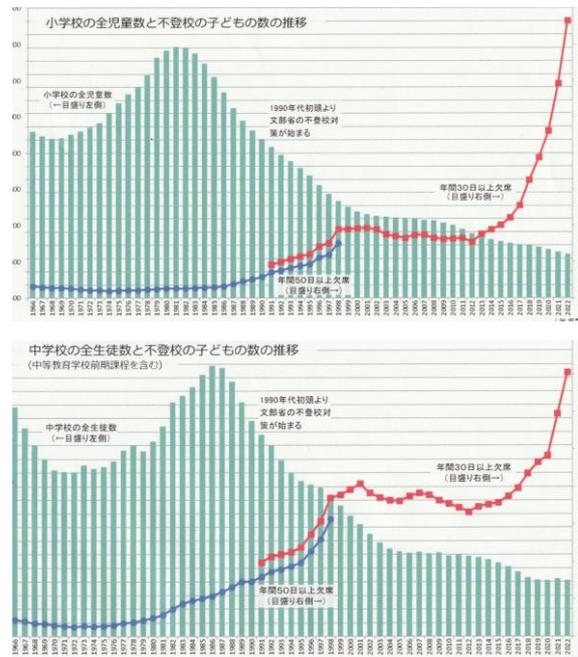
講師:心理カウンセラー内田良子さん

講師のお話を熱心に聞く参加者たち



参加者は 78 名

講演会資料より



団体概要

千葉県内や近郊の不登校・ひきこもりの当事者とその家族、関係者に対する情報提供・相談対応や親の会などでのサポート、当事者ためのネットワークづくりや居場所の確保・社会参加の機会提供、また政策提言等に関する事業を通じて、健全な社会構築に若者が参画し、寄与することを目的として、県内で活動する不登校の・ひきこもりの親の会の関係者や、活動の場を求める不登校・ひきこもりの当事者とその家族が集い、2003年12月に設立されました。

問い合わせ先 氏名: 阿部 直子

e-mail: info@nponemo.net

団体名	NPO 法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア	
事業名	折れない心を育てるいのちの授業 ～半径5メートルの人と幸せに暮らせる地域を目指して～	種別 I型(1年目)

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の困窮をはじめとした生活に関する様々な不安や悩みを抱える人が増えている ・地域の子どもや高齢者等の交流・見守りや支え合いの場、相談支援を受ける機会等が失われ、自殺者が増えている
----	--

事業内容・目的	折れない心を育てるいのちの授業 ～半径5メートルの人と幸せに暮らせる地域を目指して～										
	【目的】自分の苦しみと向き合い、相手の苦しみと関わることができる子どもや大人を増やす										
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ? 令和6年12月15日(日) 14時～16時	<input checked="" type="checkbox"/> 講師は? 千田 恵子氏(一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会業務執行理事)									
	<input checked="" type="checkbox"/> どこで? 市民文化創造館きららホール	<input checked="" type="checkbox"/> 参加者の感想は? 苦しみを抱えている人に対し、「反復」「沈黙」で聴き、「わかってくれる人」と思ってもらえるような関わりをしたいという参加者の声がたくさんあった。									
	<input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? 134名(申込170名) 子育て世代、保育・教育従事者、医療・介護・福祉従事者など多彩な方々が参加										
<table border="1"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>131,075円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>0円</td> </tr> </table>		事業費(A)	131,075円	事業収入	0円	<table border="1"> <tr> <td>支援金(B)</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td>76%</td> </tr> </table>		支援金(B)	100,000円	事業費に占める支援率(B/A)	76%
事業費(A)	131,075円										
事業収入	0円										
支援金(B)	100,000円										
事業費に占める支援率(B/A)	76%										
事業費内訳(単位:円)											
1	講師謝礼	10,000	5	行事保険	4,760						
2	消耗品費	11,227	6	会場使用料	29,090						
3	チラシ代など	30,368	1～6 合計(A)		131,075						
4	切手代	45,630									

効果	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の苦しみに向き合える人が増え、また、苦しんでいる人に関われる市民を増やす事ができた ・何もできないと不全感・無力感に陥っていた人も、できることがある可能性を見出すことができた ・認定講師は新たに1名誕生し、令和7年9月の講師トレーニングに1名参加予定。他に1名から打診 ・実施後に教育委員会へ参加者の声を届けた所、小中高校長会でプレゼン、全学校へ書籍寄贈、令和7年度から、協会からの授業のお誘いがあり、教育委員会経由で毎年行えることになった ・書籍贈呈式で、市長が授業の内容をご理解頂き、学校以外の場への実施に向けて、お話ができた
----	--

工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費を確保できたことにより、福祉政策課が「後援」でなく、「共催」して下さった ・ピュアが関わる4つの担当課からチラシ配布をして頂いた
--------	---

担当者より	当初、定員100名(80名でワークショップ)予定でしたが、僅か10日で100名を突破し、レイアウトを変更して170名迄受けました。仕事や体調不良により、当日の欠席が出ましたが、この事業への期待が大きく、ニーズが限りなくある事がわかりました。市長と教育委員会に授業をご理解頂きましたので、今後は別の事業実施します。
-------	--

折れない心を育てる いのちの授業

～半径5メートルの人と幸せに暮らせる地域を目指して～

「自分なんて、いたくてもいいのかもしれない」皆さんはそんな風に考えたことありませんか？
では、どんなことがあると、自分のことを認め、人にやさしくできそうですか？
様々な苦しみと遭遇する人生において、子ども達、そして関わる大人達が
自分の苦しみと向き合い、相手の苦しみと関わることを学ぶこと。
地域の中で、子どもから高齢者まで、このような人が増えていく事で、人生の最期まで
穏やかに暮らせる社会を目指そうとします。年齢・職種問わず、誰でも参加OKです。
温かな心の育み方を一緒に学び、互いに「支え」たと感じることが出来るお話をします。

令和6年度船橋市民公益活動公募型支援事業（市民協働課）

参加費無料

先着100名

（事前予約制）

締切12/5

受付開始13:30

12月15日 (日) 14:00～16:00

会場 ▶▶▶ 船橋市民文化創造館 きららホール
(船橋市本町1-3-1 フェイスビル6階)

対象 ▶▶▶ 船橋市内在住・在勤・在学の方
(小学生以下は保護者とご参加ください)

一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会
業務執行理事 千田恵子さん



学生時代、小学生の学習支援を通して、自分の存在を認めてくれる第三者がいる
ことで自尊感情・自己肯定感、そして学びと成長に繋がることに関心を持つ。
企業で人材育成に関わる中、父親が難病ALSに罹患。仕事と介護の両方のプレッ
シャーで悩む。父を介護し、自分が生かされる事を諦めた。小学生の学習支援
と出会い法人設立。生半かなくなり、自分が今生きていることの価値を実感し、
自分らしい人生を送り、幸せな最期を迎えられる社会を目指す。

申込みは、QRコードから(11月1日～)



申込み問い合わせ
TEL 070-5554-3734(月・火・金) Mail npo.pure@gmail.com

主催：NPO法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア(NPO法人ピュア) 共催：船橋市(福祉政策課)
後援：船橋市生涯学習推進センター



↑ 2024年12月15日きららホール会場
最後方席迄、参加者で埋まり、熱気に溢れ、
この事業が求められている事を痛感しました

← 市内全域に配布したチラシ



船橋市立船山南中学校で出前授業を行う藤田さん(左奥)



3月14日、寄贈式で、同市教育委員会と連携した出前授業の実現を目指します(左:松戸市長、右:松本教育長)

「折れない心を育てるいのちの授業」を
受け止めて寄り添い
「わかってくれる人がいる」という安心感と
支えが、この先も人生
を歩み続ける力にな
る。そんな「ココロ
ニヤニヤ」を、目を
指して船橋を拠点に
活動を続けています。

受け止めて寄り添い
「わかってくれる人がいる」という安心感と
支えが、この先も人生を歩み続ける力になる。そんな「ココロニヤニヤ」を、目を指して船橋を拠点に活動を続けています。

「折れない心を育てるいのちの授業」を開催
NPO法人ピュア代表 藤田敦子さん 船橋市在住

命の現場に学ぶ、自分らしい生き方
末期の病床にある家族を、自宅でまもることができなかつた。そんな体験が、2001年にNPO法

人を設立し在宅緩和ケア推進に取り組み、できた藤田敦子さん。講演会や相談事業を行う中で、コ

とにも心を痛め、広く支援を届けようとした。そんなとき、医師・小澤竹俊さんが主宰する「折れない心を育てるいのちの授業」に出会い深く共感した藤田さん、自らも認定講師となり、プログラム普及に着手します。自分の苦しみと向き合い、また、苦しむ相手と

昨年12月、同市内でのいのちの授業講演会を開催。参加者から学校にもこの授業を届けたいという声が多く寄せられ、藤田さんは本ならいづくも、誰もが手を取り読むことができる」と、2019年に出版

された同名の書籍を小中高・特別支援学校全84校と図書館などへ寄贈。松戸市長と長と松本教育長は「子どもや教職員、保護者にもぜひ読んでほしい内容」と感想を述べ、感謝を表しました。「苦しみを感じたらこの本を読んで、一人で頑張らないで、と伝えたい」「折れない心を育むメッセージが、世代を超えて多くの人に届くようにと願いを込めました。」(雪道)

問い合わせは
こちら



← 授業後、地域新聞とMy Funa から取材記事が発信されました。WEB版が公開中
↓ 令和7年7月17日、船橋市立中学校で折れない心を育てるいのちの授業を実施。今後、教育委員会経由で学校に授業をお届けします



団体概要

解決が難しい苦しみを抱えた誰もが、大切な人や自分のこころのケアができるように、自分らしい生き方を選択できるようにと活動を行っています。折れない心を育てるいのちの授業以外に、船橋がんサロン、カフェひまわり(事務局)、船橋市立医療センター緩和ケア病棟ボランティア、船橋在宅医療ひまわりネットワーク(ピュアは構成団体、事務局:船橋市)の活動を行うことで、地域の中で、「最期まで自分らしく生きたい、暮らしたい!」その願いを実現させていきます!

問合わせ先 氏名: 藤田敦子 e-mail: npo.pure@gmail.com

団体名	新世紀美術協会千葉支部	
事業名	こどももおとなも楽しく描こうアート教室	種別 I型(1年目)

課題 ・デジタル教育の振興と共に、実際に手を動かして絵を描く楽しさを味わうことが少なくなっている

事業内容・目的

こどももおとなも楽しく描こうアート教室
【目的】身近なアート表現を知り、芸術に興味を持ってもらう

いつ? 令和7年1月26日(日) 講師は? 小枝 真紀氏(新世紀美術協会委員(東京支部))
 どこで? 船橋市市民ギャラリー 内容は?
 参加者は? 26名 (未就学児4名、小学生12名、高校生3名、30代3名、60代3名、80代1名) 参加者に、M60号のキャンパス2枚にアクリル絵の具で自由に絵を描いてもらう

事業費(A) 94,685円 事業収入 0円	支援金(B) 85,216円 事業費に占める支援率(B/A) 90%
---	--

事業費内訳(単位:円)

1	講師謝礼	40,000	4	会場使用料	10,110
2	消耗品費及び原材料費	36,825	1~4 合計(A)		94,685
3	保険料	7,750			

効果

- ・絵を描くことで、外への観察力を高めるとともに、自己表現の手段により、内面の観察力を同時に高めることが出来た
- ・身近なアート表現を知り、芸術に興味をもつきっかけとなった

工夫したこと

昨年試行的に同様のイベントを開催し、その反省点を反映させた。
おおきなキャンパスに絵の具で自由に絵を描くこと自体は楽しい体験なので、参加者に喜んでもらえることは確かであったが、広報、安全、人員整理、などの運営面での配慮が大切であると感じた。
広報面はチラシ配布を市が全面適にバックアップしていただいた。安全面は、イベント保険に入りかつ、養生を適切に行った。
人員整理は受付、役員人員を配置した。結果安全で楽しいワークショップ型のイベントとなった。

担当者より

市担当者からのアドバイスもあり、参加者アンケートを取らせていただき、好評であったことを確認できた。又、完成作品は本年8月の新世紀美術協会千葉支部展(於:千葉県立美術館)にて展示予定であることを、参加者に周知し、希望者には案内送を付した。同展ではジュニアコーナーを設けて子どもたちの作品を大歓迎している。



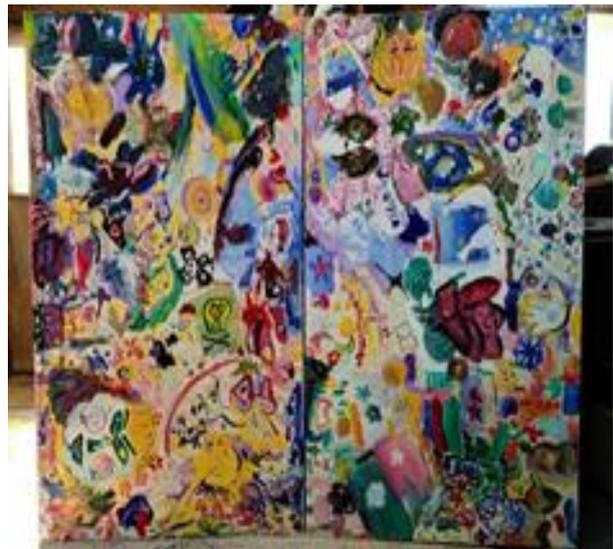
イベントの様子(午前)



イベントの様子(午後)



イベントの様子(午後)



完成作品(60号2枚を合わせた)

団体概要

新世紀美術協会は毎年5月に東京都美術館にて公募展を開催し、明年は70回展を開催予定である。新世紀美術協会千葉支部は独自に毎年8月に千葉県立美術館にて公募展を開催し、本年は63回展を開催予定である。また、毎年1月に船橋市民ギャラリーにて本件記載のワークショップ型イベントを同時開催する公募展、千葉支部小品展を来年も予定している。

問合わせ先 氏名: 太田邦彦

e-mail: cbm29546@nifty.com

団体名	ぐるっと交換会		
事業名	ぐるっと交換会+講演会「衣服のゆくえ～廃棄服はどこに行く?～」	種別	I型(1年目)

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・成長速度が速く、洋服のサイズがすぐ小さくなってしまいう新生児～幼児の衣服は、着なくなると簡単に廃棄されやすい ・少子化やコロナ禍を経て地域交流が縮小している現状から、おさがりの機会が減っている現状も衣料品廃棄の増の一因となっている
-----------	---

ぐるっと交換会+講演会「衣服のゆくえ～廃棄服はどこに行く?～」									
【目的】子ども服を含めた衣料品がどのように廃棄されているかを知り、おさがりの活用を促進し、廃棄衣料の減少へ個々の意識を変える									
<input checked="" type="checkbox"/> いつ? 令和6年11月16日(土) <input checked="" type="checkbox"/> どこで? 石井食品 Viridian <input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? ①628点の洋服・小物の持ち込みがあり、440点の交換があった。 ②5名	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は? ①子供服の交換会(持参した枚数分、会場にある子ども服を持ち帰ることができるおさがり会) ②講演会「衣服のゆくえ～廃棄服はどこへゆく?～」								
<table border="1"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>76,363円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>6,200円</td> </tr> </table>	事業費(A)	76,363円	事業収入	6,200円	<table border="1"> <tr> <td>支援金(B)</td> <td>32,540円</td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td>43%</td> </tr> </table>	支援金(B)	32,540円	事業費に占める支援率(B/A)	43%
事業費(A)	76,363円								
事業収入	6,200円								
支援金(B)	32,540円								
事業費に占める支援率(B/A)	43%								
事業費内訳(単位:円)									
1	報償費	50,500	4	保険料	1,660				
2	消耗品費及び原材料費	220	5	使用料	19,000				
3	印刷製本費	4,983	1~5	合計(A)	76,363				

効果	・廃棄衣料の課題を知ることで安易に買い、廃棄する行動を見直す機会となった。
-----------	---------------------------------------

工夫したこと	①交換会に参加しやすいよう、会場で絵本の読み聞かせ等親子で参加できるイベントを開催した。 ②衣装ラックを使用する、サイズとアイテムごとにディスプレイするなど洋服を見易く並べることで多くの服が次の子へ渡る工夫をした。 ③船橋市の有価物:身近な視点、集められ輸出された衣類のゆくえ:地球環境という俯瞰的な視点、両方の視点を得るため取材を重ねた点。 ④トークイベントを記録し、オンデマンド配信することで、一時的な知識として終わらない工夫をした。
---------------	--

担当者より	子ども服の交換会の活動を始めて、節目となる3年目に「交換会」とどまらないイベントを開催しました。活動の根本にある「もったいない」という思いに「学び」を加えることで、同じ地域に住む1人1人の具体的な行動変化のきっかけになればと思います。活動助成を得ることで、これまでチラシ配架が難しかった公共施設にご案内を置いていただく事が出来た点も、認知度向上の力となりました。
--------------	---



賑わう会場の様子



絵本の読み聞かせの様子



服を選びやすいよう工夫した場づくり



絵本の寄付を頂き「絵本募金」を急遽設置。
能登半島地震・豪雨被害の支援として
募金は全額寄付しました

団体概要

子ども服を次の子へ

・着られなくなった子ども服を、地域の子どもたちでおさがりし合う交換会の企画運営。物々交換の仕組みで、持参した服の点数分、会場の服を持ち帰ることができる。西船橋・山口病院さんや子ども食堂などでお譲り会のイベントを行う。

ねらい・目的

- ・子どもの成長スピードに合わせて次々とサイズアウトしていく衣服を有効活用することで、廃棄物削減をする。
- ・子ども服の循環を介して、同じ地域で子育てをする親同士が交流する場を作る。
- ・身近にできる「もったいない」「ゴミ廃棄問題」へのアクションを提案する。

活動予定や記録は Instagram で随時配信 https://www.instagram.com/gurutto_koukankai/

問い合わせ先 氏名: 平田 香織

e-mail: guruttokoukankai@gmail.com

団体名	明治大学校友会 船橋地域支部		
事業名	「心のリハビリ・心の栄養づくり」～コミュニケーション講演会	種別	I型(1年目)

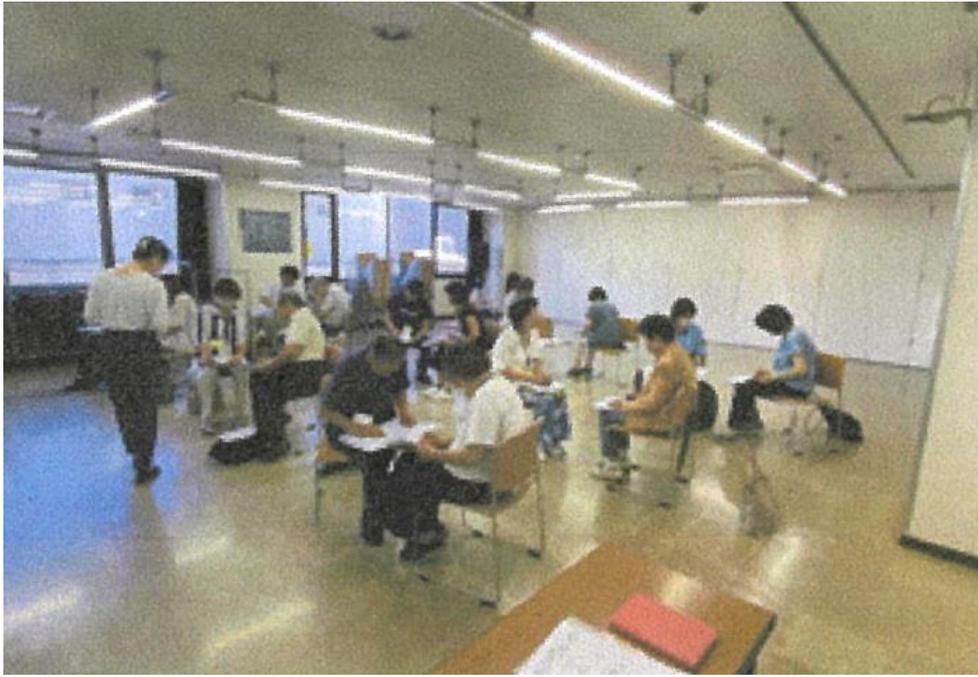
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・一人家庭・高齢者の一人住まい・障害者等社会的弱者・引きこもり・不登校・DV・家庭内暴力・メンタルヘルス不調者等の増加 ・心理的安全性のない職場・学校・家庭・コミュニティ等の増加
----	--

事業内容・目的	「心のリハビリ・心の栄養づくり」～コミュニケーション講演会										
	【目的】コミュニケーションの重要性を再認識し、心の病の防止となるコミュニケーションの知識やスキルを習得・修得する場の提供										
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ? ①令和6年6月2日(日) ②令和6年9月15日(日) ③令和6年11月10日(日) ④令和7年2月16日(日)	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会の内容は? ①「心と身体のリハビリとコミュニケーションの重要性を体感しよう」 ②「アンガーマネジメント(感情のコントロール)」 ③「看護におけるエンパワーメント 心と身体への理学療法の応用」 ④「これまでの講演会の振り返り～質疑応答～ダイアログの理解」	<input checked="" type="checkbox"/> どこで? 中央公民館、 ベストエフォートオフィス船橋								
	<input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? ①12名 ②18名 ③21名 ④18名 適応障害・パニック障害の方、不登校の子ども・引きこもりや適応障害の方がいるご家族										
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>129,148円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>16,500円</td> </tr> </table>	事業費(A)	129,148円	事業収入	16,500円	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">支援金(B)</td> <td style="text-align: center;">100,000円</td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td style="text-align: center;">77%</td> </tr> </table>			支援金(B)	100,000円	事業費に占める支援率(B/A)
事業費(A)	129,148円										
事業収入	16,500円										
支援金(B)	100,000円										
事業費に占める支援率(B/A)	77%										
事業費内訳(単位:円)											
	1	講師・ファシリテーター謝礼	55,556	4	会場使用料	19,125					
	2	文具代	46,492	1~4	合計(A)	129,148					
	3	通信費	7,975								

効果	<ul style="list-style-type: none"> ・適応障害やパニック障害・不登校児童の家族・引きこもり家族等の参加以降、回を追って本人の参加が得られ、社会参加への1歩につながった。アサーティブ(相手を尊重した言い方)な言い方や傾聴技法を使ったコミュニケーションの取り方を身につけることができた
----	--

工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> ◎心の病を持つ方の参加を促すため、家族の参加を船橋地域支部校友会委員中心に周知・勧奨に取り組み、心の病となる諸原因の理解と感情の理解、看護の在り方を通し本人と家族の自立と周囲の理解について体験・質疑応答時間を多くとった。 ◎プライバシーに注意・配慮しながら回を重ねることで参加者間の親和性が高まり、心の病を持つ本人の参加まで行きついた。
--------	---

担当者より	<ul style="list-style-type: none"> ◎事業費の経費を押さえるため4回の会場確保に苦慮。そのためポスター・チラシの作成に時間がかかり周知に動ける時間が不足し、思うように参加人数を増やせなかった。そうした中でも適応障害・パニック障害の方に参加いただけ、体験談と家族の方の話しを伺え、不登校児童や引きこもりの家族がいる方にも評価いただけ、事務方で手伝った校友会員からも市民との交流に実施して良かったと声が出ました。
-------	--



講演会の様子:感情のコントロール実践対話の様様

団体概要

◎明治大学・明治大学大学院卒業生で、船橋市・鎌ヶ谷市在住か勤務者で支部入会の希望者による団体。社会貢献・地域貢献活動、市民との交流、大学周知活動、支部会員の親睦等の活動を毎年行っています。

問合わせ先

氏名: 糸井大恵

e-mail: daie.4122_itoi_2023@outlook.com

団体名	特定非営利活動法人人財育成支援センター	
事業名	wkwkカメラであそぼ！ 親子で撮影・自己表現体験講座	種別 I型(1年目)

課題

- ・近年、InstagramやTikTokが身近になり、子どもも写真を身近に感じている一方、近くにいる大人が気軽に撮影するが故に、表現作品として真摯に取り組むことが減っており、子どもの豊かな感性を育てる機会を摘み取っている。
- ・著作権や撮影時のマナーについての理解不足や意識の希薄化。

wkwkカメラであそぼ！ 親子で撮影・自己表現体験講座
 【目的】正しいカメラによる表現方法・著作物の在り方について学びながら、写真撮影体験や作品発表を通して、自己表現力と豊かな心を育む

事業内容

<input checked="" type="checkbox"/> いつ？ 令和6年8月3日(土) <input checked="" type="checkbox"/> どこで？ 勤労市民センター、本町4丁目公園 <input checked="" type="checkbox"/> 参加者は？ 17名(子ども12名、保護者5名) 保護者も一緒に参加し、学ぶことができる環境とした。 (子ども、保護者各1名当日欠席) <input checked="" type="checkbox"/> 参加費は？ 1人500円	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は？ ・写真の歴史や著作権・撮影の際のマナー等を学び、公園にて撮影大会を実施。 ・作品発表会でどのような思いで撮ったか・何を伝えたかったか等を発表した。 ・写真を残す方法やディスプレイのアイデア等について学んだ。
--	---

事業費(A)	247,643円	支援金(B)	100,000円
事業収入	8,500円	事業費に占める支援率(B/A)	40%

事業費内訳(単位:円)

1	講師謝礼	22,000	5	保険料	1,006
2	消耗品費	8,317	6	会場使用料、カメラ賃借料	49,340
3	チラシ印刷製本代	165,300	1~6 合計(A)		247,643
4	切手代	1,680			

効果

- ・「様々な表現方法・主張があってよい」などの適正な自己表現を学ぶ機会を提供できた
- ・著作権や撮影時のマナー、社会ルールについて学ぶことができた

工夫したこと

当団体の体験活動は、「創造性と自己表現」をテーマの1つとしています。最近、とても身近になっている写真撮影を題材に、正しいカメラの使い方、さまざまな表現方法、著作物についても学び、撮影体験、作品発表を通して自己表現力と豊かな心が育まれるきっかけづくりができたことと思います。

担当者より

子どもの学びの場で、重要なのはその場に保護者が一緒にいて、共に学ぶことです。子どもが学んだことから自力につなげる努力するのに、保護者がそれを打ち消すというケースが多々あります。そこで、今回あえて「親子で・・・」という場を設けました。いろいろな表現方法、主張があってよいということを体験し、学び、適正な自己表現ができるようになり、著作権や撮影時のマナー、社会ルールにも気を配ってくれるようになることでしょう。



写真の歴史とフィルムや古いカメラを学ぼう



カメラの基本的な使い方を身につけよう
そしてカメラを大切に扱おう



こんなアングルだとどんな表現できるかな？



野外での撮影大会



「いろいろな角度から撮ってみる」を実践



1番のお気に入りを選び、タイトルを付け、
何を表現し、感じてもらいたいかを発表

団体概要

当団体は、「人材は人財である」をテーマに地域文化や芸術等の社会文化活動の支援事業、社会体験を通じた人材育成支援事業を行ない、社会に有為な人材を育成し、豊かな社会・経済・文化の発展のために寄与することを目的に千葉県内と近隣都県を中心に活動を行っています。

問合わせ先

氏名: 飯島 茂樹

e-mail: htc@npo-htc.or.jp

団体名	特定非営利活動法人コハレ LABO		
事業名	ふなばし子ども食堂フェスティバル		種別 I 型(1年目)
	～地域に飛び込み笑顔を増やそう～		

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・流入する子育て世帯数に対して、子育て世帯のニーズを充足できていない ・地域との関わりが希薄化することによる「居場所」の喪失、自己肯定感や意欲の低下
----	---

事業内容・目的	ふなばし子ども食堂フェスティバル ～地域に飛び込み笑顔を増やそう～ 【目的】イベントを通して子ども食堂に関するネガティブなイメージを払拭し、地域住民の参加を促し、すべての人の生きづらさに寄り添うきっかけをつくる																					
	<input checked="" type="checkbox"/> いつ? 令和6年5月26日(日)	<input checked="" type="checkbox"/> 内容は?																				
	<input checked="" type="checkbox"/> どこで? 浜町公民館	①体験型子ども食堂イベントを行い、食を通じた「食育」を実践。																				
	<input checked="" type="checkbox"/> 参加者は? 子ども、子育て世帯など約420名(うち子ども約230名)	②居場所および子ども食堂に関するシンポジウムの開催。																				
		③居場所や子ども食堂、コミュニティカフェ等の開設を考えている方々を対象に、カフェや子ども食堂運営者による相談会を実施。																				
	<table border="1"> <tr> <td>事業費(A)</td> <td>169,123円</td> </tr> <tr> <td>事業収入</td> <td>0円</td> </tr> </table>	事業費(A)	169,123円	事業収入	0円	<table border="1"> <tr> <td>支援金(B)</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>事業費に占める支援率(B/A)</td> <td>59%</td> </tr> </table>	支援金(B)	100,000円	事業費に占める支援率(B/A)	59%												
事業費(A)	169,123円																					
事業収入	0円																					
支援金(B)	100,000円																					
事業費に占める支援率(B/A)	59%																					
	事業費内訳(単位:円)																					
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>デザイン作成費</td> <td>10,000</td> <td>4</td> <td>ZOOM 使用料</td> <td>2,327</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>コピー用紙・文具代など</td> <td>110,307</td> <td>5</td> <td>会場使用料</td> <td>6,150</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>チラシ印刷代</td> <td>40,339</td> <td>1~5</td> <td>合計(A)</td> <td>169,123</td> </tr> </table>	1	デザイン作成費	10,000	4	ZOOM 使用料	2,327	2	コピー用紙・文具代など	110,307	5	会場使用料	6,150	3	チラシ印刷代	40,339	1~5	合計(A)	169,123			
1	デザイン作成費	10,000	4	ZOOM 使用料	2,327																	
2	コピー用紙・文具代など	110,307	5	会場使用料	6,150																	
3	チラシ印刷代	40,339	1~5	合計(A)	169,123																	

効果	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂に対するネガティブイメージを払拭し、様子を知ってもらうきっかけとなった ・イベントを通して、地域全体で子どもを育てる意識の向上を図ることができた
----	---

工夫したこと	子ども食堂を核にした、多くの方がさまざまな形で参加、応援できるイベントを、地域資源(公民館、地域活動団体等)と協働で開催する仕組みを模索しました。また、市民団体、学生、企業、行政が同じテーブルで議論できる仕組み(シンポジウム)の実現を模索しました。 こども達でも気軽に体験参加ができる仕掛けを学生ボランティアが中心となって企画運営できました。
--------	--

担当者より	<ul style="list-style-type: none"> ・市民協働活動の目的や目指す姿などについて、各関係者間でなかなか理解されず、共通認識になったかは疑問が残りました。 ・予想を超える参加人数であり、その多くの子連れの参加者から、「歩いて行ける距離に、子どもや子育て中のママが気軽に参加できるイベントや交流の場が必要だ」との声が多く寄せられ、その必要性を強く実感しました。この実感を社会課題として明確に整理し、解決に向けた取り組みが求められていると痛感しています。また、その実現のためには、補助金に頼ることなく、持続可能な事業収益を生み出せる仕組みづくりが不可欠であると、あらためて認識しました。
-------	--



気軽に参加できるワークショップ(講堂)



シンポジウム

【ふなばしの子ども食堂～いつでも 誰でも
みんなの居場所～】

ふなばし CITYNEWS 令和 6 年 6 月 15 日
放送



市内の子ども食堂と共同でお弁当作成



市長、教育長と集合写真

団体概要

特定非営利活動法人コハレ LABO(2021 年 4 月設立・船橋市浜町(所在地)は、地域全体で子育てに関わり、子どもや子育て世帯が孤立せず、心豊かに成長できる“温かな居場所”づくりを目指す団体です。

ハレカフェを拠点に、こども食堂(令和 7 年 7 月現在 277 回開催)や親子ワークショップ、学生ボランティアによる社会体験支援を継続的に展開。公的機関や企業との協働、ボランティア参加しやすい場づくりにも取り組んでいます。

問合わせ先 氏名: 牛垣雅志

e-mail:support@cohalelabo.org

これまでの交付実績 (平成 22 年度～令和 6 年度)

補助金を使って事業を実施した団体と事業の一覧です。分野ごとに掲載していますので、過去の事例を参考に、本制度の活用を検討していただけると幸いです。

各事業の詳細は、過去の事例集をご覧ください。

過去の事例集(市 HP にリンクしています。) ※「H〇〇、R〇」は実施年度を示します。

H22	H23	H24	H25	H26	H27
					
H28	H29	H30	R1	R2	R3
					
R4	R5	R6			
					

1 保健、医療又は福祉の増進

団体名	事業名	実施年度			
船橋市手話サークル さざんか	ひろげよう“手話の輪”！聞こえない人たちも暮らしやすい船橋に	H30			
NPO法人生き方応援団ララ	心のバリアフリーで船橋をモデル都市に！障がい福祉事業	H28			
ふれあい船橋	触れ合うことによるコミュニケーションの提案事業	H27	H28		
公益社団法人船橋地域福祉・介護・医療推進機構	「食と健康」に関するシンポジウムの開催	H22	H23	H24	H25
	船橋地域福祉相談会「船橋福祉塾」	H26			
NPO法人うえるかむ権利擁護サポートセンター船橋	知的障害者と家族等の権利擁護と成年後見制度の相談と支援事業	H23	H24	H25	H26
NPO法人 船橋ウォーキング・ソサイエティ	市民の為の各種ウォーキング体験会にて、健康増進活動推進事業	H23	H24	H25	H26
オアシス家族会	精神障害者を抱える家族に対する支援事業	H24	H25	H26	

団体名	事業名	実施年度			
特定非営利活動法人 千葉県中途失聴者・難聴者協会	文字を生かしてコミュニケーション「筆談を学ぼう」講座	H24	H25	H26	
市民後見センターちば・船橋	成年後見制度を広く船橋市民に広め、市民後見人を養成する事業	H23	H24	H25	
プレシャスライフ倶楽部	粋・活き健康生活づくりですこやか船橋！市民協働の健康とまちづくり事業	H24			
NPO 法人シニア・システム協議会	中・高齢者のためのマナトモ大学で生涯学習をたのしもう	H22			
Smile 船橋ビンちゃんと	笑いヨガ講座	R2			
船橋行田公園走友会	第30回 船橋行田公園 100 kmリレーマラソン大会	R3	R4	R5	
NPO法人発達障害支援ネットYELL	発達障害に関する講演会	R3	R4	R5	
一般社団法人 マザーナース オリーブ	スマイル！ママ笑って♡～医療者による子育てイベント～	R4	R5		
スペシャルキッズプロジェクト	スペシャルキッズプロジェクト vol.12 和太鼓ワークショップ	R5	R6		
MOA 健康生活ネットワーク船橋	一輪の花を生けるために空き缶を使ったり サイクル花器づくり	R5			
むねあかどり	『地域のHUB（ハブ）=つなぎ役に』 高齢社会・障害者福祉を学び、介護してる方へのリフレッシュを。	R5	R6		
NPO 法人 千葉県中途失聴者・難聴者協会東葛南事務所 船橋友の会	難聴者と会話しやすくなるコミュニケーション講座	R5			
はぐくみハグミー	障がい児と家族のための避難所づくりワークショップ	R5	R6		
特定非営利活動法人終活支援センター千葉	明日からの人生を生き生き過ごすために“終活”を楽しく学びましょう	R6			
船橋市聴覚障害者協会	「ヒゲの校長」上映会	R6			
NPO 法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア	折れない心を育てるいのちのちの授業～半径5メートルの人と幸せに暮らせる地域を目指して～	R6			
明治大学校友会 船橋地域支部	「心のリハビリ・心の栄養づくり」～コミュニケーション講演会	R6			

2 社会教育の推進

団体名	事業名	実施年度			
正伯塾	ふなばし郷土史講座	H27			
“伝えよう船橋”の会	船橋かるたによる、子供の健全育成を図る活動及び住みよい魅力あるまちづくり推進	H24	H25	H26	H27

3 まちづくりの推進

団体名	事業名	実施年度			
丸山を元気にする会	周辺農家、大学生、専門家と連携した魅力的な船橋市丸山地域づくり事業	H27			
船橋金杉 club	地域友好促進支援サポート事業	H22			
街に花と緑の会	前原西2丁目花と緑のまちづくり活動	H23	H24	H25	H26
ふるさとまちづくりの会	お休みどころ「かつしか」の設置	H22			
ふなばしっぐ海遊創生協議会	「船橋お散歩海道」プロジェクト	H22	H23		
船橋美し学園街づくり館運営協議会	坪井地区(船橋美し学園)コミュニティ自立推進活動	H22			

6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興

団体名	事業名	実施年度			
船橋の民話をきく会	子ども達に船橋の民話を、のこす・つたえる・ひろめる・とどける事業	R1			
船橋障害者スポーツ・レクリエーション協会	船橋市障害者スポーツ・レクリエーションの普及・推進	H24	H25	H26	H27
千葉 桃の会	世代を超えてみんなで唱歌・童謡を歌おう	H23	H24	H25	H26
船橋古文書の会	読んでみませんか！古文書講座(初級編)	R3	R4	R5	
NPO法人 囲碁文化継承の会	囲碁交流による健全な児童、健全な家庭、潤いのある地域社会づくり事業	H22	H23	H24	
湖紫菟花のサークル	伝統文化 子どもたちのいけ花教室	H22	H23		
自遊時感工房	地域におけるスポーツを通じた障害者の社会参加の促進！	H22	H23		
二和劇場ボランティア実行委員会	市民が創る二和劇場 初笑い二和寄席	H22			
千葉県ダンススポーツ連盟千葉西支部	社交ダンススポーツの普及活動	R5			
ゴスペル・ママズ	「歌って、ハモってリフレッシュ！ゴスペルワークショップ」	R5	R6		
童謡文化の会	童謡・唱歌を歌って学ぼう！パートⅡ	R5	R6		
ハーモニーship	舞台美術ってどんなもの？学んでみよう！つくってみよう！	R6			
新世紀美術協会千葉支部	こどももおとなも楽しく描こうアート教室	R6			

7 環境の保全

団体名	事業名	実施年度			
NPO 法人環境を考える市民の会	市民と育む持続可能な環境に向け学び塾の実施	H28	H29	H30	
アースドクターふなばし	～次世代を担う子どもたちに向けて～地球温暖化防止・啓発事業	H29			
三番瀬写真展実行委員会	第4回みんなの三番瀬写真	H27	H28	H29	
NGO三番瀬のラムサール条約登録を実現する会	三番瀬・東京湾のお魚・生き物出前授業	H27	H28		
フィールドミュージアム・三番瀬の会	三番瀬をフィールドとし、生き物の生物生態系や自然環境の循環を学び、市民としてまちづくりに貢献する事業	H23	H24	H25	H27
坪井湿地を復活する会	坪井のヘイケボタル復活計画	H24	H25	H26	H27
三番瀬カレンダー制作実行委員会	三番瀬カレンダー制作	H24	H25	H26	
丸山サンクチュアリ	大切な市民の森を皆で守り育てよう！！	R6			
NGO三番瀬のラムサール条約登録を実現する会	三番瀬食文化出前講座	H22	H23	H24	H25
ふなばし木の子の森	ふなばし木の子の森:わんぱく講座	H24			
NPO法人 環境を考える市民の会	市民と育む海老川うるおい創生活動	H22	H23	H24	
アースドクターふなばし	めざすはストップ地球温暖化	H22			
塚田環境フェア2010実行委員会	塚田環境フェア2010と15周年事業	H22			
特定非営利活動法人 環境カウンセラー千葉県協議会	「うちエコ診断」で、身近なところから地球温暖化防止活動に参加しよう！	R4			
ぐるっと交換会	ぐるっと交換会+講演会「衣服のゆくえ～廃棄服はどこにいく？～」	R6			

8 災害救援

団体名	事業名	実施年度			
NPO法人シビルまちづくりステーション 船橋防災関連プロジェクトチーム	「土砂災害から身をまもる」に関する調査・提言、知識普及および広報事業	H25	H26	H27	
船橋 SL ネットワーク	いざ災害！！わが身わが命は自分でまもる	H22	H23	H24	

9 地域安全

団体名	事業名	実施年度			
船橋東交通安全協会	交通安全を市民に普及する交通安全広報・啓発活動事業	H22	H23	H24	

団体名	事業名	実施年度			
(社)船橋交通安全協会	交通安全を市民に普及する交通安全及び啓発活動	H22	H23	H24	
自転車運転マナー推進委員会	公道走行に於ける自転車安全マナー実践教室開催	H22	H23	H24	

10 人権の擁護又は平和の推進

団体名	事業名	実施年度			
原爆の絵展・平和のつどい実行委員会	平和啓発事業	H22	H23	H24	

11 国際協力

団体名	事業名	実施年度			
船橋英語連盟	船橋市が国際都市にふさわしい親善や交流を行える資質のある市民を増やす。船橋市民として英語を通して国際感覚、外国人とのコミュニケーション力を身につける。	H24	H25	H26	
フェアトレードちば	フェアトレードちばを知り学び味わう！コーヒーワークショップの実施	R3	R4		

12 男女共同参画社会の形成

団体名	事業名	実施年度			
船橋パパ会	「家族で子育てを楽しむ地域づくり～パパが変われば地域が変わる～」	H30			
船橋ワーキングマザーの会	働く/働きたいママのための地域コミュニティ	H25	H26	H27	H28
NPO 法人 JASH 日本性の健康協会	船橋にも多様な性を語れる交流会を！	R2	R3	R4	

13 子供の健全育成・子育て支援

団体名	事業名	実施年度			
子ども食堂 こっこ	こっこが街にやってくる&こっこで学ぼう	H30	R1		
ワーカーズコープちば	制服バンク	H29	H30	R1	
親業ひまわりの会	心と心のかけ橋を作る、コミュニケーションの基本を学び広める公益活動	H25	H27	H28	
夢を育てるキャリア教育の会	「自分らしく生きる力を～」夢を育てるキャリア教育の推進・普及活動とキャリア教育支援活動事業	H27			
NPO法人 くーおん	「からだづくりを通じて心を育てる」運動が苦手な子への運動サポート事業	H25			
M あんどB	読書活動の一環として子どもの人形劇講座	H24			

団体名	事業名	実施年度			
0・2歳児親子遊び「かしの木会」	0・2歳児親子遊び事業「どんぐり会」「ジーバー会」	H22	H23	H24	
西船保育園父母会	孤独な育児に対するアプローチ『ひとりぼっちで悩むのはやめよう』虐待防止に対するアプローチ『子育てを大いに楽しもう』	H23			
パートナーズオブライフ	高齢者が生き生き人生を全うするための協働支援事業	H22			
プレーパーク船橋	講演会「子どもたちの遊びの世界」	R2			
	長津川プレーパーク～ロープワークをマスターして遊び場を手作りしよう！～	R3	R4		
いごっちクラブ	「囲碁で友だちの輪をつくろう！」	R5	R6		
NPO 法人 ネモ ちば不登校・ひきこもりネットワーク	講演会&相談会「どうする不登校・ひきこもり～子どもとともに生きる Part II～」	R6			
特定非営利活動法人人財育成支援センター	wkwkカメラであそぼ！ 親子で撮影・自己表現体験講座	R6			
特定非営利活動法人コハレ LABO	ふなばし子ども食堂フェスティバル ～地域に飛び込み笑顔を増やそう～	R6			

16 経済活動の活性化

団体名	事業名	実施年度			
船橋漁港の朝市委員会	みんなおいでよ！船橋漁港の朝市	H24	H25	H26	H27
丸山を元気にする会	丸山を元気にしよう！朝市・夕市の開催&丸山ひまわり110番を探せ！ハロウィンウォークラリーイベント開催	H22	H24	H26	
ふなばし街歩きネットワーク	船橋市における街案内ボランティア組織と活動の創出および人材育成事業	H22	H24	H25	
NPO法人 バイプランアシエイツ	船橋新交通・渡船 FunabaSeaBus(水上バス)	H22			
船橋商工会議所青年部	市民・来訪者が求める船橋市のアンケート調査事業	H22			

19 NPO支援

団体名	事業名	実施年度			
市民協働推進連絡会	市民活動の活性化へのサポート	H24	H25		

21 その他

団体名	事業名	実施年度			
船橋市援農クラブ	農業ボランティア事業	H26	H27	H28	H29
船橋納税貯蓄組合連合会	租税納付及び広報活動関連事業	H22			

船橋市 市民生活部 市民協働課

〒273-8501 船橋市湊町2-10-25

TEL:047-436-3201

FAX:047-436-3063

E-mail:shiminkyodo@city.funabashi.lg.jp